



Rotary
第2730地区



宮崎中央ロータリークラブ
ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO

週報

今月のテーマ 母子の健康月間

第1428回例会

2016年4月21日 Vol.30/No.39

■本日の例会

第1429回 平成28年4月28日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 母子の健康月間について
……秦喜八郎 会員
- 会員卓話…草田哲也 会員

■前回の例会

第1428回 平成28年4月21日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 米山奨学生卓話…バトムンクバートルスレンさん
- イニシエーションスピーチ…糸数智美 新会員
- 会員卓話…松田くるみ 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 56名
- ・出席者 35名
- ・欠席者 21名
- ・出席率 62.50%
- ・4/9の繰上出席率 100.00%

■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。ちょうど1週間前の14日、熊本で震度7の地震が発生し、その後、16日未明にもやはり震度7の地震がありました。14日は前震、16日が本震ということですが、当初、16日の本震は震度6強と発表されましたが、昨日、訂正されて震度7になりました。一連の地震で震度7が2度起こったわけですが、これは観測史上初めてのことだそうです。

あれから1週間、毎日テレビ報道を食い入るように見えています。亡くなられた方は48人、関連死が11人になっています。亡くなられた方たちのご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方たちにお見舞い申し上げます。熊本は隣県でもあり、私自身、同級生や仕事で知り合った親しい友人が何人かいます。そのお付き合いで年に数回は熊本に行きます。熊本城や阿蘇山をはじめ何度も目にし、訪れたところが無残な姿でテレビに映っていることにショックを受けています。

当クラブとしては、理事会に諮り、義援金を贈ることになると思いますが、お金を送ることしかできないのか、他に何かできることはないのか、ここ数日もどかしく思っているのは私だけではないと思います。とにかく、早く余震が収まり、被災された方たちが一日も早く日常の生活を取り戻されることをお祈りしたいと思います。

■幹事報告

幹事 田中 寿



○5月22日地区研修協議会開催時の服装については、ジャケットありのノーネクタイでお願いします。

○龍山ロータリークラブより台南地震災害への義

捐金に対するお礼とともに今回の熊本地震災害に対して17万円（日本円で57万円強）を振り込む旨のメールが来ております。贈り先については、後日理事会で協議のうえ決定します。



香川美穂子会長エレクト

大重ガバナーエレクト事務所よりガバナー月信、ロータリーの友購読に関するアンケートが来ております。5月10日までの提出ですので、今週、来週でアンケート調査をしたいと思っております。

■ポールハリスフェロー認証式

生駒俊明 会員
藤原昭公 会長



■米山奨学金授与式



バトムンク
バートルスレン君

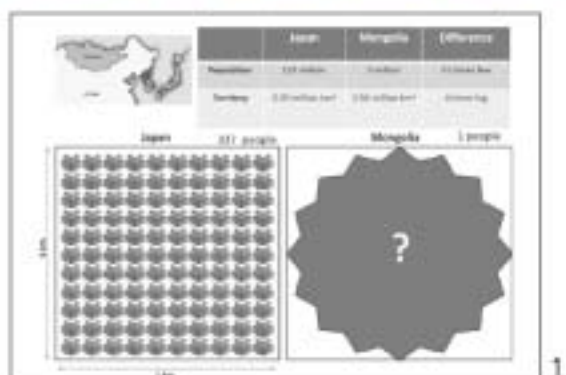
米山奨学生卓話

The role of estrogen and its receptors in liver regeneration

Baatarsuren Batmunkh



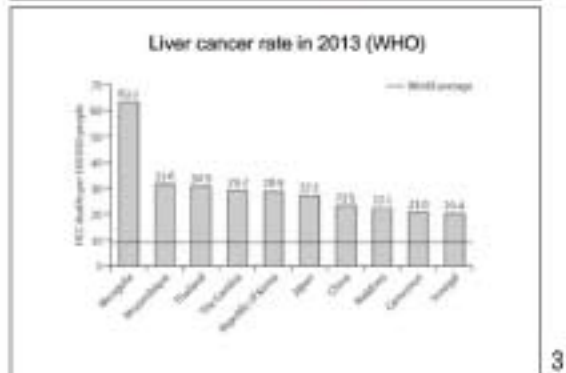
Department of Anatomy, Histochemistry and Cell Biology,
Faculty of Medicine, University of Miyazaki



1



2

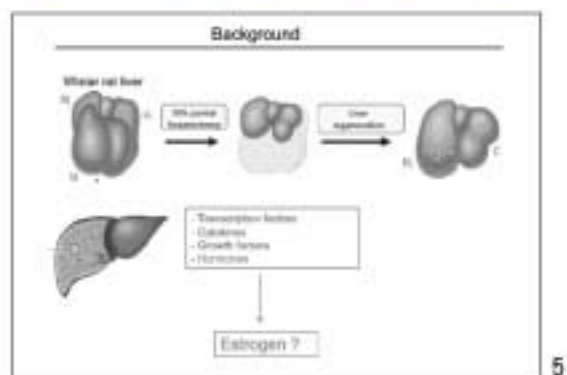


3

Background

- モンゴリア国は、肝がんや、B型肝炎やC型肝炎が非常に多く、世界の平均より5倍程度多くと2013年にWHOが発表しました。
- 結核等の伝染病の多いことによる肝炎ウイルスの感染や、様々な重金属の暴露により、肝臓疾患、特に肝臓癌や肝がんの患者が非常に多く見られ、これは、モンゴリア国では医学的にも社会的にも大きな問題になっています。
- 一般的には、肝がんの患者により、手術して肝臓を切除したり、もつと肝臓が悪い場合は、移植しなければなりません。移植時にはドナーが必要ですが、モンゴリア国では、人口が少なく、十分なドナーが見つかりません。また、医療技術のレベルが高くない事も問題です。

4

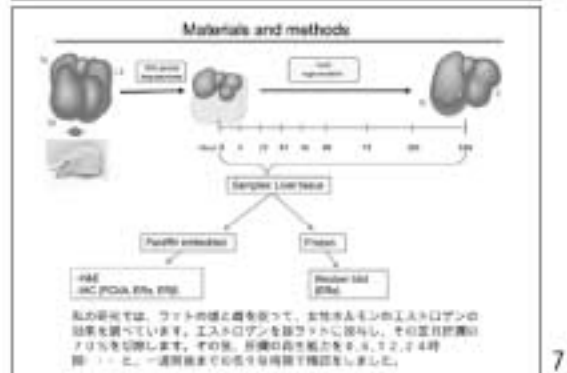


5

Background

- 肝臓は、正常であれば、たとえ、外科的に一部が切除されても肝臓独自の特別な能力により、数か月以内に元の大きさに戻る事ができます。しかしながら、障害を受けた肝臓では、その再生能力は低くなり、元の正常な状態に戻る事は非常に困難である事が知られています。
- モンゴリア国だけでなく、世界的に肝がんや肝臓病になっているのは女性より男性の方が多いため、手術後男性より女性の方が回復しやすいと、様々な論文に書かれています。でも、その理由は、まだわかりませんが、多分、女性ホルモンのエストロゲンの効果かもしれないと考えられています。
- 肝がんになった場合、肝臓を切除する手術をしますが、そのあとの肝臓の再生には、時間が必要になります。人には、その再生期間が大抵3か月から半年程度必要です。私が行っている研究の目的は、肝臓の再生する時間を出来るだけ早めにする治療方法を探ることです。

6



7

ハッピーボックス (敬称略)



●草田哲也…30周年式典おつかれ様でした。皆様のご協力のもと、おかげ様で100%出席達成していただきました。本年度2回目の100%です。ありがとうございました。



●甲斐孝則…65歳の誕生日プレゼント有難うございました。実感はありませんが、もう高齢者になります。後期高齢者までは元気で頑張ります。



●山田知樹…誕生日プレゼントありがとうございました。早くも56才となりましたが、まだまだ頑張りたいと思います。

出席委員会報告

委員長 草田哲也

◆4/9メイクアップ者名(敬称略)

片木重光、川越孝幸、黒木陽子、坂本弘史
酒匂尚彦、佐々木究、秦喜八郎、岡田圭史

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市富田町10-25 富田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口徹一 委員:鈴木克信、長友久人、川越孝幸、山田知樹、生駒俊明